

猿 橋
小学校

瑛玖良

瑛玖良校は明治期における猿橋小の旧名。切磋琢磨の意が込められている。

熱は伝わる

校長 磯部 裕之

予行練習が終わっての振り返りの場で、応援団を集めて担当の先生が言いました。

「間違ってもいいから、とにかく一生懸命な姿を見せること。そうすれば、みんなついてくる」そして、その後に、こう言ったのです。「熱は伝わる」

この先生の言葉どおり、応援団のメンバーの熱い思いは、確実に全校へ伝わっていきました。

4月に応援団として発足して以降、約1ヵ月、連日の練習や打合せに励んできました。

ある日の朝、応援練習のためグラウンドに向かう高学年の子どもたちに、一人の応援団が「ここに並んでください」と指示していました。いかにも自然で、当然のように指示を出していたのですが、恥ずかしさを乗り越え、自信を付け、大きく成長している証でもありました。

運動会の得点発表の場面。あとわずかで、優勝、準優勝に届かなかった青組団長が、最後に青組の子どもたちに向かって言いました。

「ぼくについてきてくれて、ありがとう！」

この言葉は、青組の子どもたちだけでなく、会場にいたたくさんの方の胸を打ちました。勝敗にかかわらず、自分の思いをまっすぐな言葉で伝えられる子どもたちは、なんて素晴らしいのだろう。

私も、感動して涙がこみ上げてきました。



応援団のことを中心に述べてきましたが、きっと、全校の子どもたち一人一人にそれぞれのドラマがあったことと思います。運動会という一つの行事をとおして、子どもたちは大きく成長することができました。ゴール目指して一生懸命に走る子どもたちの姿は、見ているだけでも胸が熱くなります。「一生懸命に何かをやることは、素晴らしい」そのことを実感させてくれた今年度の運動会でした。この感動や充実感を、これからの学校生活に活かしてまいります。

閉会式でも話しましたが、運動会が無事に終わられるように、PTA役員の皆様からは「駐車禁止の看板設置・撤去」「当日の運営協力」「テントや用具の片付け」「グラウンドのマーカー撤去」と、全面的にご協力いただきました。おかげで、当日は大きなトラブルや苦情もなく無事に終了することができましたし、子どもたちも競技や応援に専念できました。心より感謝申し上げます。

また、学校からの呼び掛けに応じて徒歩や自転車でお越しいただきました皆様、所定の駐車場をご利用いただきました皆様、何よりたくさんの温かいご声援をいただいた皆様、大変ありがとうございました。